

フードシェアリングサービス「タベスケ」を千葉県内の自治体で初めて導入します ～サービス開始に先立ち、登録事業者の募集を開始します～

千葉市では、市内の飲食店や食品小売店等で、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される可能性のある食品を必要とする市民へつなぐことで、食品ロスの削減を図るフードシェアリングサービス「タベスケ」を令和8年10月から開始します。

このたび、サービス開始に先立ち、同サービスに登録いただける市内事業者の募集を開始しますので、お知らせします。

1 事業の目的

日本では、年間約461万トンの食品ロスが発生しており、その削減は社会的な課題となっています。本市では、このたび、フードシェアリングサービス「タベスケ」を導入し、「まだ食べられる食品」と「お得に購入したい消費者」を「タベスケ」を通じてマッチングすることで、食品ロスの削減、ごみ減量の推進および環境負荷の低減を図るとともに、市民の食品ロス削減に対する意識向上を目指します。

2 タベスケとは

「タベスケ」は、株式会社ジー・プレイスが提供するフードシェアリングサービスです。まだ食べられるにもかかわらず、賞味・消費期限が近いことや閉店時間が迫っていることなどにより廃棄される可能性がある食品の情報を事業者が登録し、その情報を見た利用者がアプリや専用サイトから購入予約できます。

飲食店やパン店、菓子店、スーパーマーケットなどで発生する余剰食品の有効活用を促進することで、食品ロスの削減につなげるとともに、事業者の廃棄コストの削減や新たな顧客の獲得等の効果が期待されます。

3 登録事業者の募集概要

(1) 募集開始日

令和8年8月3日（月）

(2) 対象

市内で食品を販売する法人、団体または個人（食品の販売に必要な営業許可、届出その他法令上必要な手続を行っていること）

例 飲食店、パン店、菓子店、惣菜店、食品小売店、その他食品関連事業者

(3) 登録料・利用料

無料

※登録事業者、利用者ともに登録料およびサービス利用料はかかりません。

(4) 申込方法

専用アプリもしくはWEB（インターネット）からお申し込みください。

○iOS版アプリ

【URL】<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%82%BF%E3%83%99%E3%82%B9%E3%82%B1/id6476265467>



○Android版アプリ

【URL】<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.tabesuke.app.tabesuke>



○WEB（インターネット）登録

【URL】<https://tabesuke.jp/users/>



(5) サービス開始日

令和8年10月1日（木）（予定）

(6) 市ホームページ

本事業の詳細は市ホームページからご確認ください。

【URL】<https://www.city.chiba.jp//kankyo/junkan/haikibutsu/documents/documents/tabesuke.html>



4 「タベスケ」千葉市ロゴマーク

千葉市は、1126年に千葉常重が亥鼻の地に本拠を構えてから、2026年で開府900年を迎えました。この記念すべき年にスタートする「タベスケ」の千葉市ロゴマークは、千葉市の礎を築いた「千葉氏」をイメージして制作しました。



「タベスケ」千葉市ロゴマーク